

令和５年９月７日（木）～８日（金）に新潟市で開催され、正副会長５名と事務局４名で参加しました。

関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会とは、１都１０県８市で組織され、「相互に緊密な連絡を図り、民生委員・児童委員活動の進展に資すること」を目的としています。

２年後の令和７年度は埼玉県が開催当番となる見込みであり、研究協議会の運営ノウハウを吸収することも、もう一つの大きな目的でした。

第２日の分科会協議は、参加者が４つの分科会に分かれて出席しました。

**第83回　関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分科会 | テーマ | 実践報告者・概要 |
| 第１ | 一斉改選を終えて  ～新たななりて確保への取り組み～ | ①群馬県「民生委員のイメージ改革」  ②山梨県「なり手不足の要因と対策」  ③長野県「委員選出の工夫と今後の課題」  ④静岡市「欠員対策と反省」 |
| 第２ | 民児協の新任委員等に対する活動継続支援 | ①神奈川県「グループワークの導入」  ②新潟県「活動強化方策の活用」  ③さいたま市「初任者への研修・サポート」  ④相模原市「新任委員への活動継続支援」 |
| 第３ | 子育て・子育ちを支える地域づくりのための  民児協および児童委員・主任児童委員の取り組み | ①茨城県「地域の要望や課題とその対策」  ②東京都「サロンの実施と関係機関との連携」  ③千葉市「プレーパークと主任児童委員」  ④川崎市「コロナ禍での子育て支援」 |
| 第４ | アフターコロナの民生委員・児童委員活動  ～支援が必要な「気になるひと」への  地域のネットワークと支援～ | ①栃木県「地域でのネットワークづくり」  ②千葉県「コロナ前後の継続と変化」  **③埼玉県「コロナ禍前後の民児協活動」**  ④横浜市「アフターコロナの地域支援」 |

原稿①

（分科会４）

原稿②

（分科会1・2・3）